

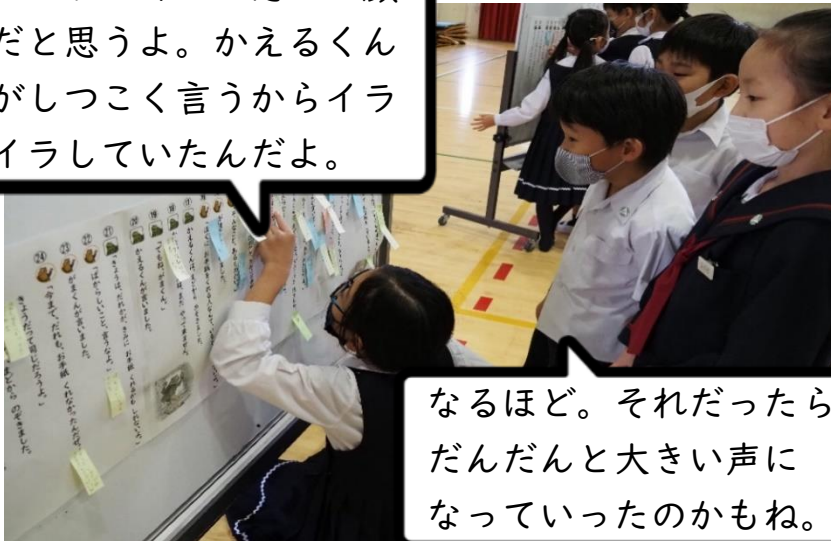
国語科 第2学年

物語の世界を1人音読劇で表現しよう ～『お手紙』～

学習指導者 おかね たいら
岡根 平

本單元では、『ふたりは』シリーズからお気に入りのお話を選び、読み方を工夫するだけでなく、動きや表情もつけた1人音読劇をお家の人に披露するという言語活動を設定しました。1年生の頃よりレベルアップした音読劇にしたいという思いを基に、まずは共通教材『お手紙』の登場人物の行動を具体的に想像していきました。

本時では、ゴールである音読劇に向けて、「表情」「声・言い方」「動き」「気持ち」の観点で具体的に人物の行動を想像しました。それを班で交流する際には、気になる想像についてイラストを使って説明したり、実際に動いたりしながら考えを伝え合うことで、複数の観点や、同じ観点でも多様に想像を広げることができました。想像が広がったところを意識しながら音読劇の練習をすることで、音読劇がレベルアップしたことを感じていました。



このがまくんは怒った顔だと思うよ。かえるくんがしつこく言うからイライラしていたんだよ。

なるほど。それだったらだんだんと大きい声になっていったのかもね。

考察

○子供たちと共通理解しながら立てた学習計画を補助黒板に示し、本時の学習課題と単元のゴールとのつながりを確認したことで、「音読劇を上達させる」という明確な目的意識をもって学習活動に取り組めた。

●広げた想像をどう音読劇に生かしているのかが音読をしている姿の中で見えにくかった。

●グループの交流では、想像を広げたことが付箋としてたくさん集まったが、全ての付箋について話し合えていない班もあった。